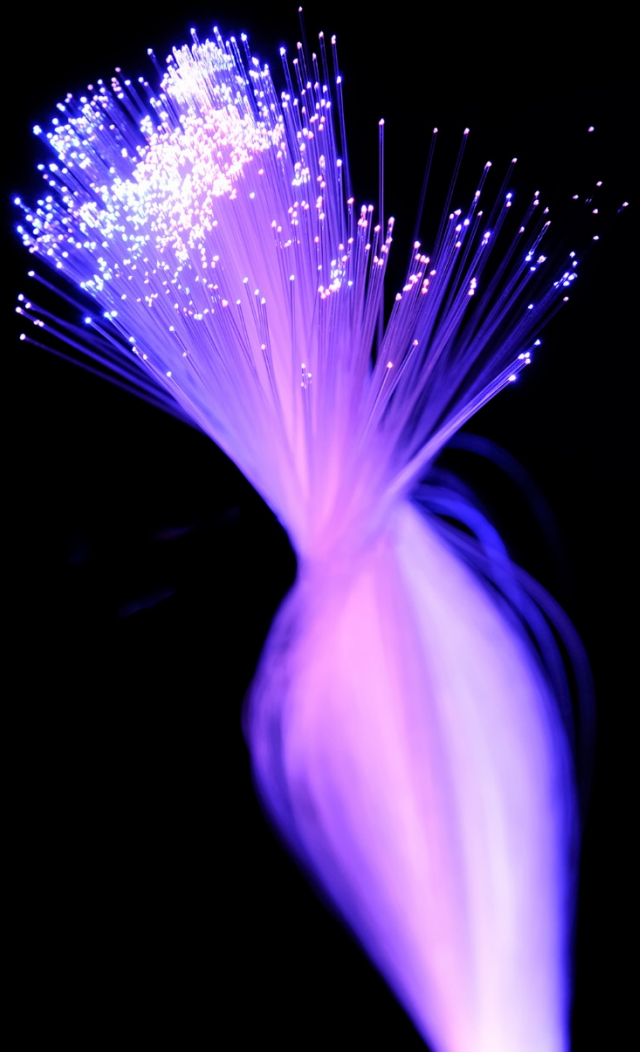




2018 FINTECH 100

Leading Global Fintech Innovations



KPMGコンサルティング株式会社



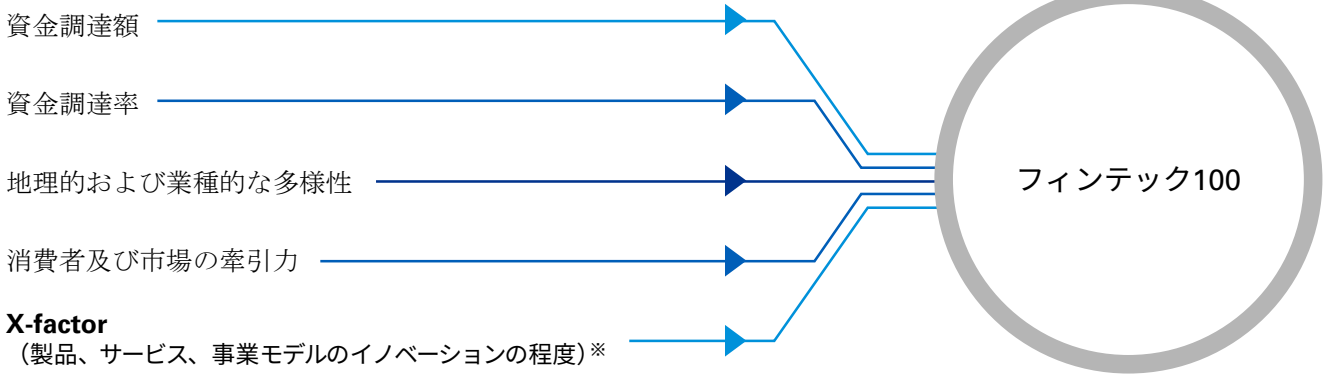
Introduction

テクノロジーと金融サービスが結び付くフィンテックの領域において、新しい商品やサービスを生み出し、既存のプロセスや市場の変革に努めている革新的な企業を紹介する今年の「フィンテック100」では、世界36カ国のフィンテック企業がランクされました。

フィンテック100は、世界のマーケットリーダーであるフィンテック企業50社からなる「リーディング50社 (Leading 50)」と、新しい製品やソリューションを有する新興フィンテック企業50社の「エマージング50社 (Emerging 50)」から構成され、デジタル決済からデジタル融資、インシュアテック、ネオバンクまで、フィンテックにより世界の金融サービス業界に変革をもたらす新興フィンテック企業が紹介されています。

今年のレポートは、ベンチャーキャピタルによるフィンテック企業の支援が飛躍的に拡大していることを示しています。今年ランクインした企業は、前年のほぼ2倍にあたる520億ドルを超えるベンチャーキャピタル資金を調達しており、また過去1年間に調達された資金は280億ドルに達しています (366%の増加)。

主な評価指標



※ Xファクターは、エマージング50社にのみ適用される主観的な評価基準



※ その他(レグテックやデータアナリティクスのイノベーターなど、従来のカテゴリーに属さない会社)

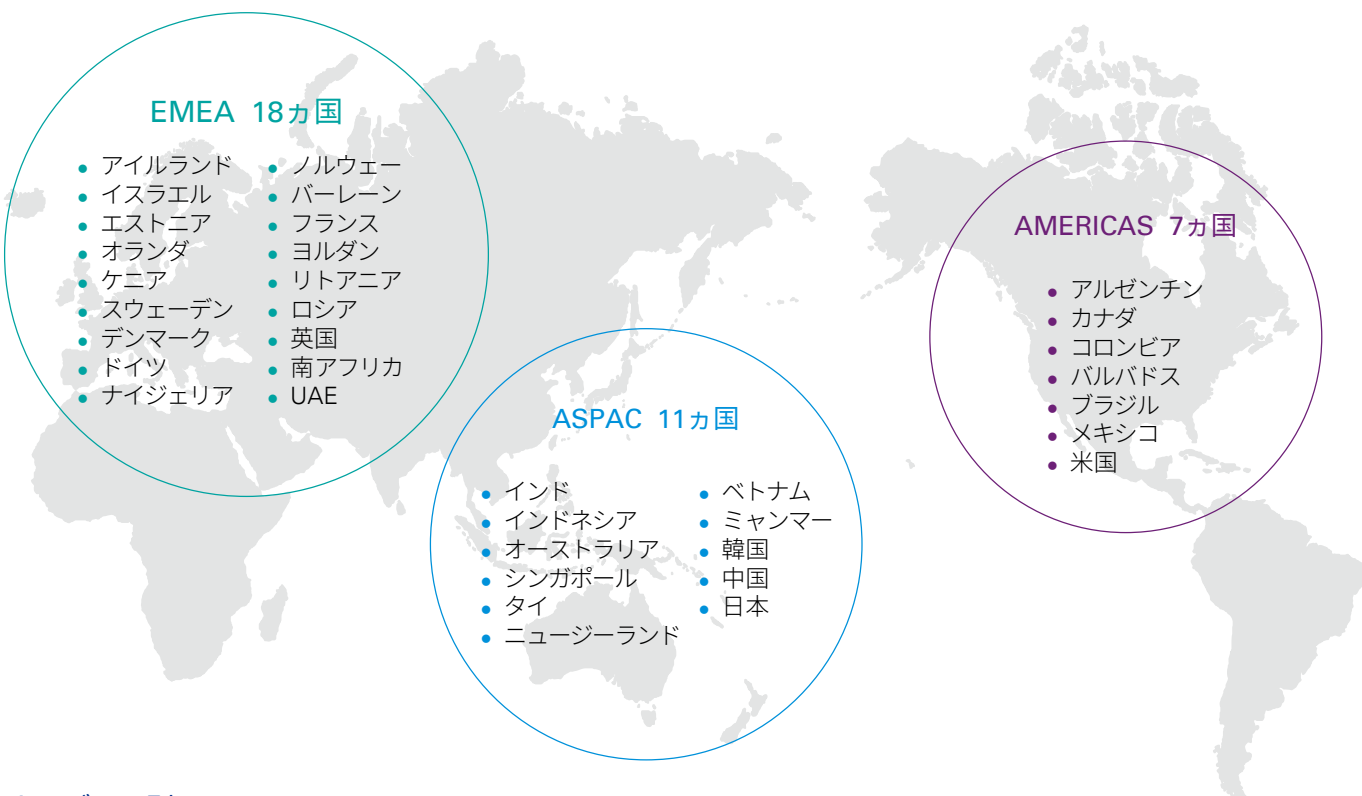
フィンテック100について

フィンテック100は、KPMGとオーストラリアのベンチャーキャピタルのH2 Venturesが共同で作成したレポートです。今年で5回目の発行となるフィンテック100では、世界で最も革新的なフィンテック企業をその評価とともに紹介しています。フィンテック100は、「リーディング50 (Leading 50)」と「エマージング50 (Emerging 50)」から構成されており、いずれも、

テクノロジーを活用して金融サービス業界に破壊的な変革を引き起こしている世界のフィンテック企業に光を当てています。H2 VenturesとKPMGのフィンテックの専門家から構成されるパネルが審査を行い、最終的なフィンテック100リストの企業を決定しました。

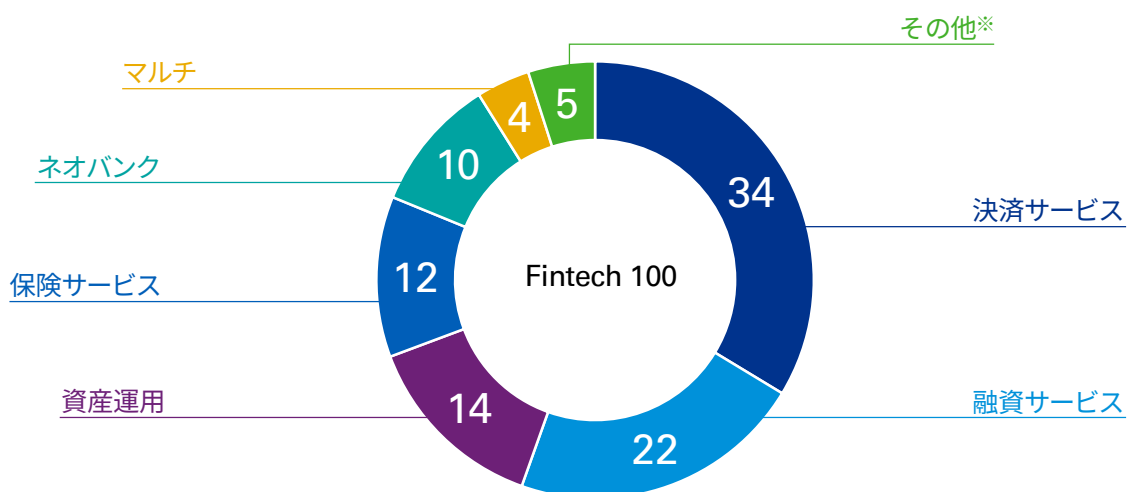
地域別

2018年の「フィンテック100」では、36カ国のフィンテック企業がランクされました。昨年と同様に、中国のフィンテック企業が上位10社のうちの4社を占めています。これは過去数年以来の動向であり、中国の既存フィンテック企業は決済と保険への重点的な取組みによってさらに規模を拡大し続けています。



カテゴリー別

決済会社と融資会社が2018年のリストの主役となっていますが、特に英国と欧州では、「ネオバンク」の台頭も目立っています。



※ その他(レグテックやデータアナリティクスのイノベーターなど、従来のカテゴリーに属さない会社)



Key Highlights

01 資金調達総額の急激な増加

2018年版では、フィンテックへの資本投資の急増が明らかになりました。「リーディング50社」では、この1年間だけで260億ドル以上を調達しており、創業以来の調達資金総額は500億ドルを超えています。一方、「エマージング50社」がこの1年間で調達した資金は10億ドルを超えており、創業以来の総額はほぼ20億ドルに達しています。

02 巨額の資金調達ラウンドの急増と主要な投資家の多様化

今年のフィンテック100にランクインした100社のうち、26社が過去1年間だけで、それぞれ少なくとも1億ドルを調達しました(昨年版の12社から増加)。特に、「リーディング50社」の上位4社は、いずれも過去1年間で10億ドル以上を調達しており、Ant Financial社(1位)、JD Finance社(2位)、Grab社(3位)、Du Xiaomon Financial社(4位)の調達額は、それぞれ145億ドル、19億ドル、20億ドル、19億ドルとなっています。フィンテック企業への巨額ベンチャー投資家としては、Sequoia Capital社やソフトバンク株式会社が含まれるほか、Alphabet社(Googleの持株会社)、BBVA社、Tencent Holdings社などの戦略的投資家も加わっています。

03 中国の巨大フィンテック企業がサービスを拡大

今年のフィンテック100の上位10社のうち、4社が中国のフィンテック企業です。そのすべてが中国の小売、保険、および巨大ネット通販企業(Alibaba社やJD.com社など)からのスピンアウト企業です。このような企業のユーザー数は驚異的なペースで増加し続けており、また提供される商品やサービスも同様です。今年の初めに、Ant Financial社(1位)は、利用者層をさらに拡大するためにYu'e Baoプラットフォームに追加投資を行いました。また、Tencent Holdings社は、ブラジルのフィンテック企業であるNubank社(7位)に1億8,000万ドルを投資しました。その他の地域で注目すべき存在は、今年の初めにフィンテック部門を立ち上げたGrab社(3位)です。今後、同社のフィンテック部門は、Grabグループ内の決済、ポイント&ロイヤリティプログラム、代理店ネットワーク、および金融サービスを包括して1つの組織に統合される予定です。

04 ネオバンクへの注目の増大

2018年の上半期に、1億ドルを超える資金調達ラウンドが5回実施され、巨額の資金が英国と欧州のネオバンク、Revolut社(13位)、Atom Bank社(9位)、Nubank社(7位)、Number26社(24位)、およびTandem社に投資されました。旧来のテクノロジー資産という重荷がないネオバンクは、従来型のインフラを一気に飛び越して、より迅速に商品のイノベーションと顧客獲得を進めてきました。また、既存の金融サービス機関でも、デジタル専用の商品やサービスへの参入が相次いでいます。最近、Goldman Sachs社のオンライン金融サービスである「Marcus」は、米国でのサービス開始後わずか18ヵ月で200億ドルを超える預かり資産を獲得した後、英国でも事業を開始しました。

05 巨大インターネット企業 = フィンテック

巨大なテクノロジー企業グループは、長年にわたり金融サービス事業も行ってきましたが、最近になってこのその活動がかつてなく本格化させています。Amazon社は、決済サービスとローンを自社プラットフォーム上の販売業者に提供しており、Facebook社は最近、アイルランドで電子通貨のライセンスを取得しました。Alibaba社やBaidu社、Tencent社は、中国の5.5兆ドル規模の決済業界の大手へと成長しています。

06 新興市場に集まる熱い視線

今年のフィンテック100には、世界36カ国から幅広い分野のフィンテック企業がランクインしており、昨年の28カ国から増加しています。その中には、今年のレポートで初めてのランクインとなったアルゼンチン、バーレーン、コロンビア、インドネシア、ヨルダン、ミャンマー、アラブ首長国連邦、ベトナム、タイの企業が含まれています。特筆すべきことは、今年選出された企業のほぼ半数が、新興市場で設立され、現在も新興市場で営業し続けていることです。

07 インシュアテックのオンデマンドビジネスモデル

保険業界における破壊的変革は依然として急速に進行しており、12社の保険フィンテック（インシュアテック）企業が今年のリストにランクインしています。変革的テクノロジーと消費者のライフスタイルの変化が利用ベースのオンデマンド／ピア・ツー・ピア（P2P）モデルを生み出し、保険の提供と消費の両方のあり方の常識を変えつつあります。Lemonade社（50位）やMetromile（43位）のようなインシュアテック企業は、自動化、データアナリティクス、コネクテッドデバイス、そして機械学習などを活用して、オンデマンドでオン／オフを切り換えられる、包括的な保険契約を消費者に提供しようとしています。

08 アジア太平洋の台頭

今年のレポートの特徴の1つは、オーストラリアとニュージーランドからの8社を含めてアジア太平洋地域から37社がランク入りしたことです（昨年の31社から増加）。

09 ICOの増加

今年は、12社（エマージング50社から11社）が、ICO（イニシャル・コイン・オファリング）を通じて総額7億2,900万ドルの資金を調達しました。その大多数は、リトアニア、ロシア、タイ、アルゼンチン、バルバドスなどの新興市場で設立された企業です。ICOは従来からの資金調達方法に代わる魅力的かつ革新的な方法になりつつあります。

10 多様性はイノベーションの強力な推進要因

私たちは、5年間にわたってイノベーションの爆発的な拡大があらゆる地域や業界で生じるのを目のあたりにしてきました。KPMGでは、このイノベーションの大半の源泉は、これほど多くの企業を設立してきたフィンテックの創業者たちの経歴の多様性、そしてその内在的な創造性にある、と考えています。今年のリストにランク入りした会社の背後には200人を超える創業者が存在し、過去5年間ではその数は1,000人近くに上ります。このような創業者たちは世界中のさまざまな国を出自としており、金融サービスの内外のさまざまな業種を経験していますが、その全員の共通項は野心とビジョンを持っているということです。フィンテック100は、隠れた原石、すなわち、世界に変革をもたらそうとする創業者と企業を発掘しようとする試みなのです。

Fintech 100 <リーディング50社>

順位	企業名	国名	順位	企業名	国名
1	Ant Financial	中国	26	AfterPay Touch	オーストラリア
2	JD Finance	中国	27	Dianrong	中国
3	Grab	シンガポール	28	VivaRepublica (Toss)	韓国
4	Du Xiaoman Financial (Baidu Financial)	中国	29	QUOINE	日本
5	Sofi	米国	30	Kabbage	米国
6	Oscar Health	米国	31	Affirm	米国
7	Nubank	ブラジル	32	OurCrowd	イスラエル
8	Robinhood	米国	33	SolarisBank	ドイツ
9	Atom Bank	英国	34	Future Finance	アイルランド
10	Lufax	中国	35	Neyber	英国
11	OneConnect Financial Technology	中国	36	ZhongAn	中国
12	51 Credit Card Manager	中国	37	TransferWise	英国
13	Revolut	英国	38	Pushpay	ニュージーランド
14	Compass	米国	39	League Inc.	カナダ
15	Stripe	米国	40	Circle	米国
16	Clover Health	米国	41	Lendingkart	インド
17	Adyen	オランダ	42	Opendoor	米国
18	Policybazaar	インド	43	Metromile	米国
19	Klarna	スウェーデン	44	Folio	日本
20	ACORN Oaknorth Holdings	英国	45	Lendix	フランス
21	Kreditech Holding	ドイツ	46	GuiaBolso	ブラジル
22	Monzo	英国	47	Starling Bank	英国
23	WeLab	中国	48	Coinbase	米国
24	Number26 (N26)	ドイツ	49	Airwallex	オーストラリア
25	WealthSimple	カナダ	50	Lemonade	米国



Fintech 100 <エマージング50社※>

※アルファベット順に記載

企業名	国名	企業名	国名
Agri Digital	オーストラリア	Payr	ノルウェー
Anyfin	スウェーデン	PaySense	インド
Aqeed Technology	UAE	Pay Tabs	バーレーン
Bankera	リトアニア	Pleo	デンマーク
Blackmoon Financial Group	ロシア	Plussimple (+Simple)	バルバドス
BlockFi Lending	米国	Polymath	フランス
Brex	米国	Power Ledger	オーストラリア
Cashaa	英国	Pundi X	インドネシア
Cellulant	ケニア	Quantexa	英国
Cleo	英国	Recordsure	英国
Coya	ドイツ	Ripio Credit Network	アルゼンチン
Crypterium	エストニア	Shift Technology	フランス
DAYLI Financial Group	韓国	Singlife	シンガポール
Dreams	スウェーデン	Tala	米国
Funding Societies	シンガポール	Tally Technologies	米国
Geru	ブラジル	TenX	シンガポール
InstaReM	シンガポール	ThisIsMe	南アフリカ
Konfio	メキシコ	Tide	英国
Kredivo	インドネシア	Tiger Brokers	中国
Kyber Network	シンガポール	Tpaga	コロンビア
Liwwa	ヨルダン	Trade Ledger	オーストラリア
Look Who's Charging	オーストラリア	Varo Money	米国
MoMo	ベトナム	Wallet.ng	ナイジェリア
Nod	オーストラリア	Wave Money	ミャンマー
Omise	タイ	WeBank	中国

Contact us

KPMGコンサルティング株式会社

〒100-0004
東京都千代田区大手町1丁目9番7号
大手町フィナンシャルシティサウスタワー

TEL : 03-3548-5111

FAX : 03-3548-5114

kpmg.com/jp/kc

東海林 正賢
Masayori Shoji

フィンテック推進支援室
室長

Masayori.Shoji@jp.kpmg.com

伊藤 貴比古
Takahiko Ito

フィンテック推進支援室
シニアマネジャー

Takahiko.Ito@jp.kpmg.com

kpmg.com/jp/socialmedia



この文書はKPMG Internationalが2018年10月に発行した「2018 FINTECH100 Leading Global Fintech Innovators」を翻訳および要約したものです。

翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降における正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2018 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 18-1070

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.